

なは女性センター講座2023



性の多様性と人権 ～レインボーフラッグをかかげて～



日常のさまざまな場面で「女・男」のどちらかを選択させられ、勝手にふり分けられ、そのたびに苦痛や困難を強いられ、不便を感じる人たちがいます。

「女？それとも男？」という問いは、ずっと私たちを縛ってきました。

性別によって生き方が制限される、そのような社会を変えてきた人たちの運動の延長線上に、多様な性を生きる人たちの権利獲得のための闘いがあります。

本講座では、「市民団体ていーだあみ」の共同代表を務める 竹葉梓さんと山城彰子さんを講師にお招きし、活動に基づいた「性の多様性と人権」について、お聞きます。

日時：6月17日(土) 午後2時～4時

会場：なは女性センター 第2学習室

対象者：関心のある方

定員：36人(事前申込先着順)



たけば あずさ
講師：竹葉梓さん
(市民団体ていーだあみ共同代表)



やましろ あきこ
講師：山城彰子さん
(市民団体ていーだあみ共同代表)

*市在住・在勤・在学の方は手話通訳が利用できます。6月9日(金)までにお申し込みください。なお、一時保育は当面の間、休止いたします。

「ていーだあみ」とは…



セクシャルマイノリティと社会を取り巻く問題を出発点に、人権について考え、語り合い、発信する団体として2015年に有志で結成。性の多様性について誰もが語り合える場所「レインボー交流会」の開催や、地方自治体・教育機関などでの研修、講演、意見提供、執筆活動などを行う。

※ていーだあみ(太陽雨)は、天気雨を意味する沖縄のことは、多様性の象徴である虹(レインボー)のきっかけとなるような活動を目指している。

講座のお申込みは、QRコードからでもできます。
*通称での申し込みでも構いません。



なは女性センターを利用される皆さまへ

体調のすぐれない方は、ご利用をお控えください。なお、ご利用の際のマスク着用につきましては、政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」に沿い、個人の判断に委ねることといたします。

令和5年度 男女共同参画週間

期間：令和5年6月23日(金)～6月29日(木)

男女共同参画週間とは？

内閣府では「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日である平成11年6月23日を踏まえ、毎年6月23日から29日までの一週間を「男女共同参画週間」として、様々な取組を行っています。

今年度は、ユース世代を対象に「男女共同参画社会の実現と女性活躍の推進に向けた、日本国内、国際社会へのメッセージ」を募集し、応募総数4,326点の中から、審査の結果、以下の作品に決まりました。

(募集期間：令和5年1月10日～2月24日)

令和5年度キャッチフレーズ

最優秀作品 無くそう思い込み、守ろう個性 みんなでつくる、みんなの未来。(戸塚 俊作さん 静岡県 18歳)

優秀作品 未来じゃなく今創るんだ、「わたし」が輝ける社会。(福田 美月さん 大阪府 20歳)
あなたにも私にも 等しいチャンスと 活躍の場 (中村 峻さん 兵庫県 18歳)

都道府県版ジェンダー・ギャップ指数から～

参考資料：「女性情報」2023年4月号



各地域の男女平等の度合いを分析した「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数」を上智大学の研究者らでつくる「地域からジェンダー平等研究会」が、国際女性デー(2023年3月8日)に合わせて公表しました。

この指数は、世界経済フォーラム(WEF)が、各国のジェンダー不平等状況を分析した「ジェンダー・ギャップ指数(Gender Gap Index:GGI)」を毎年発表しているものと同様の方法で算出されています。

沖縄県は、経済の分野で1位となっています。これは「社長数の男女比」と非正規などの「フルタイム以外の仕事に従事する男女間の賃金格差」の指標で最も差が小さかった結果ですが、沖縄県は地域別最低賃金の額が低いこと、男性の賃金が低いため格差が小さいと思われます。教育、行政の分野でも比較的上位ですが、政治の分野では28位となっており、県内41市町村中、女性議員数ゼロが10か所(2022年8月現在)となっているため、今後の改善が望まれます。

なお47都道府県中、全ての市区町村で女性議員ゼロを解消したのは6府県のみとなっています。

沖縄県の各分野の順位(47都道府県)

経済	1位	フルタイムの仕事に従事する男女間の賃金格差・フルタイム以外の仕事に従事する男女間の賃金格差(厚生労働省)、共働き家庭の家事・育児などに使用する時間の男女格差。*(家事・育児・介護・看護・買い物)では、沖縄県の順位は31位となっています。
教育	9位	男女別の大学進学率(4年制)、小・中・高校での管理職の男女比や教育委員会などでの男女比。*進学率の全国平均は、女子47.7%、男子52.8%となっています。
行政	16位	都道府県の管理職の男女比や職員の育休取得率の男女格差や市町村の管理職、審議会の男女比。*沖縄県の地方公務員管理職に占める女性の割合は567人中94人と16.6%(*1)となっています。
政治	28位	歴代知事の在職年数の男女比、衆参両院の選挙区選出議員の男女比、都道府県議会の男女比、女性ゼロ議会、市町村議会の男女比や市町村長の男女比で集計。*都道府県議会議員に占める女性の割合は、沖縄県は48人中女性7人で全国で9位となっています。(*2)

*1 出所(「地方公務員における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」：内閣府2022)版

*2 出所(「総務省 地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調」2021年12月31日)

令和5年度

「那覇市男女共同参画研修参加費補助金」 研修費用の一部を助成します！

あらゆる分野の男女共同参画の推進に不可欠な人材の育成に資する国内外の男女共同参画研修への参加促進を目的に、研修参加者に対し研修参加費用の一部を助成します。

対象研修：①沖縄県女性セミナー（海外・国内）「女性の翼」事業
②市が必要と認める男女共同参画研修事業

* 県内開催の研修は補助対象外。* 他団体からの補助金との併用は不可。

補助対象者：那覇市に住民登録のある人（市税完納者）で、研修参加後に市の男女共同参画事業へ積極的に参加・協力できる人。

補助金額：経費の2分の1以内（上限5万円）



補助回数：原則として同一人に対し1回限りとします。

補助対象経費：「補助対象研修」への参加費用

* ただし、面接及び事前研修等に要する費用、渡航手続き、旅行保険、懇親会費等、その他個人の負担に属する費用は含まれません。

締切：2024(令和6)年1月31日(水)まで

* ただし、助成額が予算に達し次第、終了します。

詳しくは、市ホームページ、または、なは女性センターまでお問い合わせください。

2023年度沖縄県女性海外・国内セミナー 「女性の翼」参加者募集

主催：一般社団法人沖縄県女性の翼の会

この事業は、公的機関、女性の社会活動、教育、労働、福祉、環境、人権等の視察研修、制度の調査等を通して、沖縄県及び地域社会で貢献できる女性リーダーの育成及び資質の向上を目的としています。

◆研修国：ベトナム社会主義共和国
(参加費：1人あたり238,000円程度)

◆研修期間
2023年9月15日～19日(4泊5日)

◆募集期間
2023年5月8日(月)～6月30日(金)

* 詳しくは、「沖縄県女性の翼 事務局」へお問い合わせください。

TEL：098-917-4677

FAX：098-917-4688

E-mail: tsubasa.okinawa@theia.ocn.ne.jp

「思春期の心と体」のための意識啓発事業を実施しています。

平和交流・男女参画課では、平成23年度からNPO法人おきなわCAPセンターに委託し、市内公立中学校1年生を対象に、思春期の子どもたちの「人間関係づくりを考える」プログラムを実施しています。このプログラムは、若年者同士の「デートDV」等の問題を取り上げ、①人間関係のパターンに気づくチャンスにする、②自己肯定感を持つための知識とスキルを持つ、③暴力の連鎖を断ち切ることなど、暴力やいじめの防止を図ることを目的として実施する事業です。

今年度は、市立中学1年生、及び令和4年度未実施の新2年生を対象に、令和5年5月～令和6年3月の期間で開催予定です。

CAPとは、

Child Assault Prevention

(子どもへの暴力防止)の頭文字です。

わかりやすい言葉で人権概念を教え、子どもたちがいじめ、体罰、痴漢、誘拐、虐待、性暴力といった様々な暴力に対して何ができるかを、子ども、親、教職員、地域の人々に伝えるCAPプログラムを提供しています。



★女性問題やジェンダーに関する図書の貸し出し及び資料の閲覧ができます。
★貸出し期間：2週間 お一人2冊まで

新着本です♪

①『自分らしく生きることを諦めなかった21人の物語』

Rashisa出版 編 濱彩 編集 ライター/Rashisa出版
2022年8月発行/355ページ

「自分らしく生きるって一体なんだろう？」本書には、自分らしく生きることを貫いている女性たちが登場します。人は諦めさえしなければ、どんな夢や目標でも叶える力があることを証明してくれる21人の物語です。



③『トランスジェンダーの私が悟るまで』

荒牧明楽 著/NR出版/2022年3月発行/245ページ

「自分は男だと思っているのに女としてしか見られず、決めつけられて、誰も理解してくれない」。著者が自分自身の実体験を元に「自分らしさ」とは、多様性の本質とは何かについて綴っています。



社会の根底に潜むアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)の根本原因を見つけ「人間のスゴさ」に気づく人生ストーリーです。

②『後悔しない生き方を選じた女たち』

Rashisa出版 編 濱彩 編集 ライター/Rashisa出版
2022年10月発行/355ページ

「あなたが選択した道は決して間違っていない」本書には、人生を変えるために大きな選択をして一歩を踏み出した女性たちが登場します。誰にも振り回されずに自分らしく自由に生きる人生を手に入れた21人の物語です。



④『非暴力の力』

ジュディス・バトラー 著/佐藤嘉幸・清水知子 訳
青土社/2022年8月発行/250ページ

「自衛」と非暴力をどう考えるか。非暴力の範囲をどう確保するか。戦争とレイシズムの時代における非暴力のマニフェスト本です。



相談室「ダイヤルうない」

周囲に話せる人がいない、自分の気持ちをわかってもらえない。そんな時、「ダイヤルうない」を利用していませんか。生きがい、家庭の問題など、女性の抱える様々な相談に応じ、自分の意思で人生を選択するために情報提供し、サポートします。

- 電話相談
- 面接相談(女性のみ・要予約)
- 法律相談(女性のみ・予約制)

098-861-7515

月～土 午前9時～12時/午後1時～5時

「ストップ・DV」情報提供

相談室「ダイヤルうない」では、ドメスティック・バイオレンス(DV)で悩む方を支援するための情報提供を行っています。詳しくは相談室「ダイヤルうない」へお問い合わせください。

性の多様性に関する相談

あなたが「自分らしい生き方」を自らの意思で選択できるように、一緒に考えます。どなたでもご相談ください。

周辺地図



■ モノレール「古島駅」から10分

- 新都心区内(10番)なは市民協働プラザ前バス停すぐ(8番)銘苅1丁目バス停5分 (99番)那覇国際高校前7分
- 県道82号線側 古島バス停10分
- 国道330号線側 真嘉比バス停・興南高校前バス停各10分

駐車場のご利用について

「なは市民協働プラザ」の地下駐車場と消防局隣の「ナハメカルパーキング」は**有料**です。センター利用者は、料金の一部が免除されますので「駐車券」を事務室にお持ちください。

☆なは女性センター利用者の一部免除料金

最初の2時間まで	100円
最初の2時間を超え1時間までごとに	100円
※利用時間が1時間に満たない場合は1時間として計算。	

那覇市パートナーシップ・ファミリーシップ登録

「那覇市パートナーシップ・ファミリーシップ登録」は、市長がパートナーシップ・ファミリーシップの関係にあると認めた場合、その関係について登録簿へ登録し、「登録証明書」及び「登録証明カード」を交付するものです。

■「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言(レインボーなは宣言)の理念に基づく取り組みです。登録によって何らかの法律上の効果(相続、税金の控除など)が生じるものではありません。

登録数 **50組**

2023年5月15日現在

*これまでに登録された方へも「登録証明カード」の交付ができます。

■お問い合わせ・申請の予約

TEL. **098-951-3203** ◆月～金:午前9時～午後5時

* 祝日、慰霊の日(6/23)、年末年始(12/29～1/3)を除く

レインボー交流会の開催について

「交流の場がほしい」「性の多様性について語りたい」といった声から生まれた誰でも参加できる交流会です。

主催:市民団体ていーだあみ

メール: tiidaami.okinawa@gmail.com

※「レインボー交流会okinawa」で検索すると、フェイスブックで最新情報を確認できます。



PRIDE

6月は「プライド月間」です。プライドとは「誇り・自尊心・矜持(きょうじ)」を意味すると同時に、「セクシュアル・マイノリティのパレード」を指すものとして、国際的に認知され、プライド月間には、LGBTQの権利に関するイベントが世界中で行われています。

with you おきなわ

沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター

はやくワンストップ 24時間
TEL #8891 365日

※繋がらない場合は、098-975-0166へ

性暴力の被害にあわれた方の意思を尊重しながら、医療的支援を含めた必要な支援を行っています。24時間365日体制で相談を受け付けていますので、いつでも相談できます。

◆なは女性センター講座について

*受講希望の講座は、なは女性センター窓口、電話、FAX、申込みQRコードでお申し込みください。また手話通訳、一時保育(現在休止中)の利用は、那覇市在住・在勤・在学の方が対象です。(事前予約が必要)

お問い合わせ

那覇市銘苅2-3-1(なは市民協働プラザ1F Aコア)
TEL. 098-951-3203 FAX. 098-951-3204
Email: s-heidan002@city.naha.lg.jp

開館時間

月～金:午前9時～午後9時

土曜日:午前9時～午後5時

休館日

年末年始(12/29～1/3)

日曜日・祝日・慰霊の日(6/23)



なは女性センター
メール



なは女性センター
ホームページ



Facebook